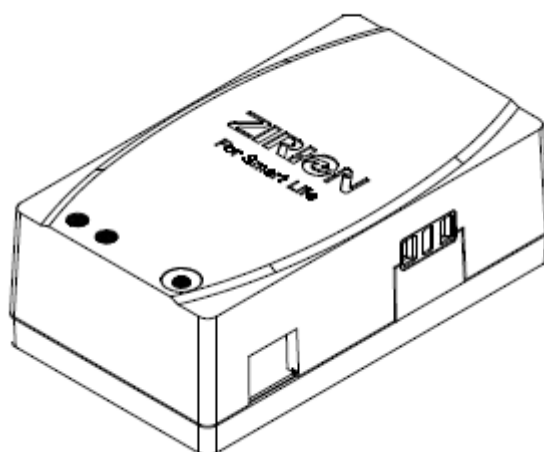


NetMoni.One

Z-NB102
取扱説明書



合同会社 エアーボックス

目次

	はじめに	
	0-1 安全上のご注意	P01
	0-2 使用上のご注意	P02
1.	お使いになる前に	
	1-1 本製品でできること	1
	1-2 箱の中身を確認しよう	1
	1-3 各部の名称とはたらき	2
2.	設置・接続	
	2-1 接続方法	4
3.	初期設定	
	3-1 ネットワーク接続	5
	3-2 初期設定	5
	3-2-1 設定画面の表示	5
	3-2-2 システム設定	7
	3-2-3 時刻設定	7
4.	表示と操作方法	
	4-1 メインメニュー	8
	4-2 モニタ	9
	4-2-1 アウトレットと監視状態画面	9
	4-2-2 計測値画面	11
	4-3 イベントログ画面	12
	4-4 電源制御画面	13
	4-5 監視設定	14
	4-5-1 監視先登録画面	14
	4-5-2 監視間隔登録画面	15
	4-6 システム設定	16
	4-6-1 システム設定画面	16
	4-6-2 時刻設定画面	18
	4-6-3 メールサーバ設定画面	19
	4-6-4 メール宛先設定画面	20
	4-6-5 SNMPトラップ設定画面	21
	4-7 メンテナンス	22
	4-7-1 リセット画面	22
5.	詳細資料	
	5-1 各設定項目の入力制限	24
	5-2 イベントログの詳細説明	25
	5-3 送信メール一覧	26
	5-4 SNMPトラップ一覧	28

6. お困りのときには	
6-1	トラブルシューティング..... 31
7. 付録	
7-1	製品仕様..... 34
7-2	お問い合わせ・ユーザ登録..... 35

保証書

はじめに

- 次のような用途にご使用される場合は、十分な配慮が必要となりますので、事前に当社にご相談ください。
 - 命に直接かかわるシステム
 - 社会的・公共的に重要なシステム
 - その他、機能維持に重大な影響をおよぼすシステム

安全上のご注意



注意

- **交流 100V 以外では使用しないでください。**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **アース線を必要とする機器を接続する場合、3P-2P 変換アダプタなどを利用して、別途、アース接続してください。**感電や誤動作、故障の原因となることがあります。
- **雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れないでください。**
感電の原因となることがあります。
- **この装置を分解・改造しないでください。**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。**
電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
感電の原因となることがあります。
- **開口部から内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **水のある場所の近く、湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **直射日光の当たるところや湿度の高いところに設置しないでください。**
内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- **振動・衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。**
落下して、ケガ・故障の原因となることがあります。
- **この装置を壁面に取り付ける場合は、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないよう確実に取り付け・設置してください。**
ケガ・故障の原因となることがあります。
- **イーサネットポートに 10BASE-T 対応の機器以外のものを接続しないでください。**
火災・感電・故障の原因となることがあります。
- **PoE 給電機器を接続しないでください。**
PoE 給電機器の中には、接続機器に対し、無条件に給電するものがあります。
本製品を接続するハブなどのネットワーク機器が PoE 給電機器でないことを、必ず、確認してください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

※上記注意事項に反して、本製品をご使用の場合、保証の対象外となります。

使用上のご注意



注意

- 内部の点検・修理は販売店にご依頼ください。
- 商用電源は必ず本装置の近くで、取り扱いやすい所からお取りください。
- この装置の電源を切るときは電源コードをはずしてください。
- この装置を清掃する際は、その前に電源コードをはずしてください。
- 仕様限界をこえると誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
- この装置を高所に取り付ける場合は、ネジなどで壁面に確実に固定してください。
- RJ45 コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイスト・ペア・ケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
- コネクタに接続されたイーサネットケーブルを帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。

1. お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害、および本装置の故障・誤動作などの要因によって通信の機会を逸したために生じた損害については、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3. 万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。
4. Microsoft Windows、Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国、および、その他の国における登録商標です。
その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

1

お使いになる前に

1-1 本製品でできること

本製品は、下記の機能を提供します。

- 接続機器の電源制御
WEB ブラウザ上からの電源遅延制御
- ping によるネットワーク機器の死活監視
ping に対する応答がない時、電源を自動的にリセット(OFF⇒ON)
- 本製品に接続している機器の電力計測
約 10 分間隔で計測した電力値を1時間分表示
- E メール、SNMPトラップでのイベント通知
 - ・電源制御が行われたとき
 - ・ping に対する応答がないとき

1-2 箱の中身を確認しよう

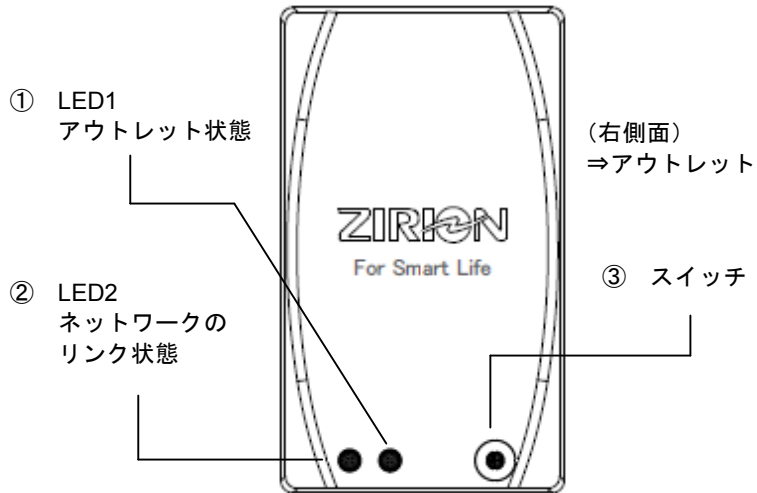
設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 構成部品

- | |
|-------------------------------|
| 1. 本体（1台） |
| 2. 簡易マニュアル（1枚） 「はじめにお読みください…」 |

1-3 各部の名称とはたらき

● 前面図



【LED 表示】

LEDの種類	LEDの表示	本製品の状態
①LED 1 アウトレット状態	青 (点灯)	アウトレット 出力 ON
	(消灯)	アウトレット 出力 OFF
②LED 2 ネットワークの リンク状態	青 (点灯)	リンク中
	青 (点滅)	リンク中かつデータ送受信中
	(消灯)	リンクが確立されていない

【スイッチ】

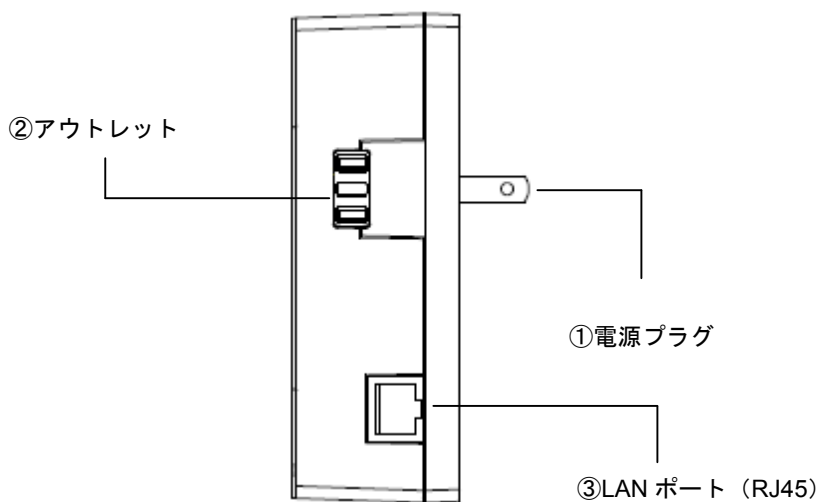
名称	機能	操作方法
③前面スイッチ	アウトレットを ON にする。 ※本スイッチによる OFF 制御は できません。	約1秒(～10秒未満)長押し 後、スイッチから手を放す。 (*1)
	すべての設定情報を初期化 する。	LED1が早点滅を開始するま で(約20秒以上)長押し後、ス イッチから手を放す>(*1)

(*1) スイッチから手を放した時に、対応する制御や処理が実行されます。

MEMO

● 側面図

【コネクタ等】



【コネクタ等】

名称	表示	機能の説明
①電源プラグ	AC100V	AC100V の電源コンセントに接続します。
②アウトレット	なし	本製品により、電力計測・電源制御を行う機器を接続してください。
③LAN ポート (RJ45)	10BASE-T	ネットワークに接続します。

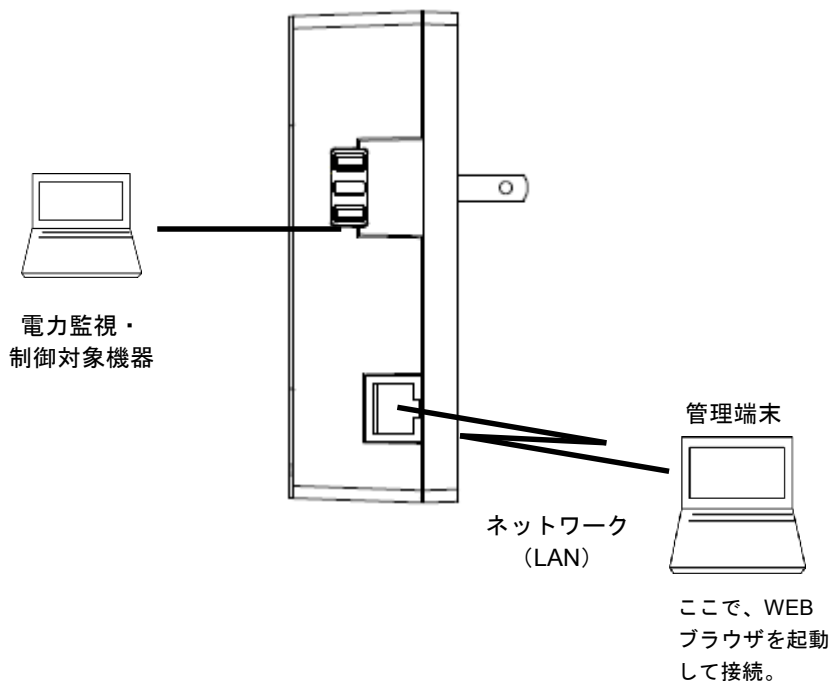
2

設置・接続

2-1 接続方法

本製品の設置および本製品に負荷機器を接続する場合には、P01～P02に記載されている「安全上のご注意」、「使用上のご注意」の項をよくお読みください。

【接続構成図】



本製品を既存のネットワーク内に接続する場合、ネットワークのトラブルとならないよう「3. 初期設定」をよくお読みの上、接続・設定してください。

不明な点がある場合は、接続・設定を行う前にシステム管理者、及び、ネットワーク管理者にご確認をお願いします。

3

初期設定

本製品を既存のネットワーク内にて使用する場合には、初期設定を正しく行う必要があります。

3-1 ネットワーク（10BASE-T）接続

1. 本製品の出荷時のネットワーク設定は、下記の通りです。

IP アドレス	192.168.10.1
サブネットマスク	255.255.255.0

2. 本製品と設定用端末（パソコンなど）を直接ネットワーク接続する場合は、カテゴリ5（CAT5）以上のクロスケーブルを使用して接続し、下記の通り設定用端末のネットワーク設定を同一セグメントの1つに設定します。

IP アドレス	192.168.10.2～254	} 同一セグメント設定
サブネットマスク	255.255.255.0	

ネットワークに接続する際、不明な点がある場合は、接続・設定を行う前にシステム管理者やネットワーク管理者に確認ください。

3-2 初期設定

3-2-1 設定画面の表示

本製品は、WEB ブラウザを使用して、状況確認や設定、アウトレットの ON/OFF 制御を行います。下記の手順に従い、本製品の設定画面を表示してください。

設定画面を表示するために、

動作確認済み WEB ブラウザ・・・Microsoft Internet Explore 6.0

1. ブラウザから設定画面を表示するには、本製品に設定した IP アドレスをブラウザのアドレス部分に入力します。
入力する際、「http://」の後に、設定した IP アドレスと HTTP ポート番号を入力してください。

http://192.168.10.1:2080/

↑

本製品の IP アドレス

● 確認事項

プロキシサーバをご使用の場合は、ブラウザのプロキシ設定の例外に本製品の IP アドレスを設定してください。

WEB 画面が正常に表示されない場合は、JavaScript が有効に設定されていることを確認してください。



2. ブラウザからログインすると、ログイン画面が表示されます。ユーザ名・パスワードを入力してください。

出荷時のユーザ名：**admin**

パスワード：**magic**

入力後「ログイン」ボタンをクリックします。

画面が表示されないときは、通信条件等の設定に間違いがないかどうかをよく確認してください。

ログイン NetMoni.One	
ユーザ名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
<input type="button" value="ログイン"/>	

全設定画面の各項目毎の入力制限については、「5-1 各設定項目の入力制限」を参照してください。

3-2-2 システム設定

1. メインメニューより、「システム設定」を選択します。

NetMoni.One ログアウト ZIRION

モニタ ログ 制御 監視設定 **システム設定** メンテナンス

システム 時刻 メールサーバ メール宛先 トラップ

システム情報	
ファームウェアバージョン	1.40-111202B
ネットワーク設定	
MACアドレス	00:E0:3E:0C:00:00
DHCP機能(*)	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
IPアドレス(*)	<input type="text" value="192.168.100.65"/>
ネットマスク(*)	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ(*)	<input type="text" value="0.0.0.0"/>
HTTPポート番号(*)	<input type="text" value="2080"/>
管理情報	
ユーザID	<input type="text" value="admin"/>
パスワード	<input type="password" value="*****"/>
アウトレット設定	
アウトレットの初期状態	<input checked="" type="radio"/> ON (遅延時間 <input type="text" value="0"/> 秒) <input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> 停止前状態維持

注意: (*)印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

2. 「ネットワーク設定」欄に、本製品の IP アドレスなど必要な項目を入力します。入力後、「設定更新」ボタンをクリックしてください。
注意: (*)印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。
3. 「システム設定」の登録後、ネットワーク設定を反映させるため、「メンテナンス」メニューより、リセットを実行します。

リセットを実行すると、WEB 接続は強制的に切断され、本製品は、新しく設定された IP アドレスで再起動しますので、同じネットワークセグメントの設定用端末から、以降の操作を行います。



3-2-3 時刻設定

1. 本製品は、電源が切れると、時刻が初期化されるため 1970 年 1 月 1 日になっており、時刻の初期設定を行う必要があります。メインメニューより、「時刻」メニューを選択し、時刻設定を行ってください。

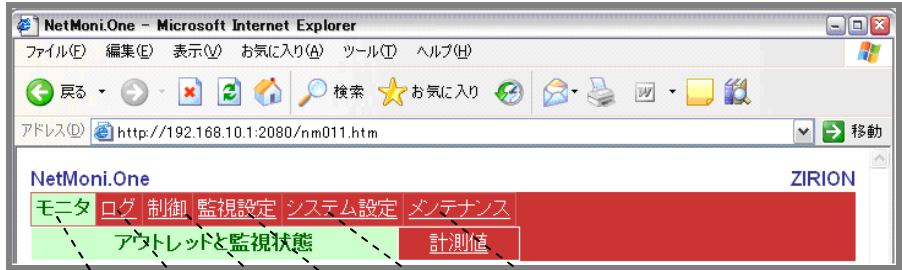
4

表示と 操作方法

本製品の各設定方法について説明します。

4-1 メインメニュー

本製品の画面は、次のような構成になっています。



画面の説明		
1.モニタ	アウトレットと監視状態	アウトレットや監視対象機器の状態、1時間分の電力計測値を表示します。
2.ログ	イベントログ	発生したイベントログを表示します。 最大ログ件数：20件
3.制御	電源制御	アウトレットの ON,OFF,REBOOT 制御を行います。
4.監視設定	監視先登録	ping によるネットワーク機器監視設定を行います。
	システム	本体のネットワーク設定、アウトレットの初期状態設定を行います。
	時刻	本体の時刻設定を行います。
	メール	メールサーバ、アカウントの設定を行います。
5.システム設定	トラップ	トラップ送信の設定を行います。
	リセット	本製品の再起動を行います。 アウトレットの状態は、現状のまま維持されますが、イベントログや計測ログはクリアされ、Web も再接続が必要になります。

全設定画面の各項目毎の入力制限については、「5-1 各設定項目の入力制限」を参照してください。

4-2 モニタ

4-2-1 アウトレットと監視状態 画面

現在のアウトレットの状態と監視状況を表示します。

「監視設定」画面で登録された監視対象機器の死活監視状況を表示します。

NetMoni.One

モニタ
ログ
制御
監視設定
システム設定
メンテナンス

アウトレットと監視状態

計測値

表示間隔 最新情報に更新 1

アウトレット状態

No.	接続機器名	出力状態	監視状態	監視台数	異常台数
1	DeviceName	ON	正常	1	0

2

監視対象機器状態

No.	監視対象機器名	状態	要求総数	応答総数	リセット
1	1 192.168.10.70	正常	63	63	<input type="button" value="リセット"/>
	2 0.0.0.0	-	0	0	<input type="button" value="リセット"/>
	3 0.0.0.0	-	0	0	<input type="button" value="リセット"/>
	4 0.0.0.0	-	0	0	<input type="button" value="リセット"/>

3

画面の説明		
1.表示間隔 (プルダウン)	画面の自動更新間隔を設定します。 設定は 30 秒・60 秒・180 秒から選ぶことができます。	
2.アウトレット 状態	接続機器名	「監視設定」画面で設定した接続機器名を表示します。
	出力状態	アウトレットの ON、OFF 状態を表示します。 出力状態に応じて、背景色が変わります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> ON : アウトレット ON 状態 (緑色) OFF : アウトレット OFF 状態 (赤色) </div>
	監視状態	「監視設定」画面で登録した条件に応じて死活監視の状態を表示します。 詳細は、次の「アウトレットの状態判定」参照。
	監視台数	「監視設定」画面で設定した死活監視台数を表示します。
	異常台数	「監視設定」画面で設定した監視対象のうち、ping による死活監視異常が発生している台数を表示します。
次のページに続く…		

3. 監視対象機器 状態	監視対象	「監視設定」画面で設定した監視対象機器の IP アドレスを表示します。
	状態	各監視対象機器の ping による死活監視の状態を表示します。 ping を監視対象機器に対して送信し、機器からの応答状態を表します。 正常 : ping 応答が正常な場合 (緑色) 注意 : 1~異常判定回数未満 ping 応答異常が発生した時 (黄色) 異常 : 異常判定回以上連続で ping 応答がなかった時 (赤色)
	要求総数	監視対象機器に送信した ping の送信回数を表示します。
	応答総数	ping 送信に対し、監視対象機器からの応答回数を表示します。
	リセット	要求総数、応答総数を「0」に初期化します。

※ping による死活監視については、監視設定画面での設定が必要です。

●アウトレットの状態判定

アウトレット状態は、監視設定の異常判定台数と、監視対象機器の状態が[異常]になっている台数とを比較して、[正常]、[異常]を判定します。

アウトレット状態が[異常]になると、通知のみ行うか、アウトレットを自動的にリセット(OFF した後、約 10 秒後に ON)します。

MEMO

監視対象機器登録直後は、ping 状態が不明なため[待機中]となり、ping 異常台数の判定により、[正常]になるまでの間、待機モード[待機中]を継続します。

- 正常** : ping 異常が監視設定の異常判定台数未満。
- 異常** : ping 異常が監視設定の異常判定台数以上。
- 待機中** : ping 死活監視の待機状態。異常判定台数による判定を行いません。

4-2-2 計測値 画面

1 時間分の電力計測値を表示します。

NetMoni.One

モニタ ログ 制御 監視設定 システム設定 メンテナンス

アウトレットと監視状態 計測値

最新情報に更新

時刻(時:分)	消費電力(Wh)
13:30 - 13:20	2
13:20 - 13:10	1
13:10 - 13:00	0
13:00 - 12:50	0
12:50 - 12:40	0
12:40 - 12:30	1

1

2

画面の説明

1.最新情報に更新	最新の情報を表示します。
2.電力センサ	約 10 分毎の消費電力計測値を 1 時間分表示します。 一番上が最新の計測値です。 ※システム設定の装置時刻設定を行うと、計測ログは、一旦、クリアされます。

4-3 イベントログ 画面

イベントログの一覧を表示します。

NetMoni.One

モニタ ログ 制御 監視設定 システム設定 メンテナンス

イベントログ

最新情報に更新

発生時刻	イベント内容	詳細1	詳細2
2009/7/9 12:18:43	メール送信(成功)	アウトレット異常(回復)	-
2009/7/9 12:18:43	メール送信(成功)	死活監視(応答復帰)	-
2009/7/9 12:18:43	アウトレット異常(回復)	異常監視先なし	-
2009/7/9 12:18:43	死活監視(応答復帰)	異常監視先No.2	192.168.10.70
2009/7/9 11:50:08	メール送信(成功)	アウトレット異常(レポート終了)	-
2009/7/9 11:50:08	アウトレット異常(レポート終了)	待機モードに移行します。	-
2009/7/9 11:47:58	メール送信(成功)	アウトレット異常(発生)	-
2009/7/9 11:47:58	アウトレット異常(発生)	異常監視先No.2	アウトレット制御(REBOOT)

イベントログは、最大 20 件を保持し、20 件を超えると、最も古いログが削除され、新しいログが追加されます。



※本体の電源断時、または、リセット実行時に、全部のログがクリアされます。

● イベントログの種類と発生のタイミング

イベントログの種類	イベント発生のタイミング
死活監視	監視先毎の ping 応答異常時、回復時。
アウトレット異常	アウトレット異常の発生時や回復時、及び、3 回連続してレポートを行ったレポート終了時。
アウトレット制御	前面スイッチ操作時と、Web からの ON/OFF 制御時
通信障害	ネットワークの Linkup、Linkdown 時。
メール送信	各イベント毎のメール送信時。送信エラー発生時。
システム起動	本体の電源投入時。

MEMO

※イベントログの詳細については、「第 5 章 5-2 イベントログ一覧」を参照してください。

4-4 電源制御 画面

設定した遅延時間後にアウトレットを制御します。

NetMoni.One

モニタ ログ 制御 監視設定 システム設定 メンテナンス

電源制御

最新情報に更新 **1**

No.	接続機器名	出力状態	操作ボタン					
1	DeviceName	ON	0	ON	0	OFF	0	REBOOT

遅延時間
アウトレット制御の中止

2 **3** **4** **5**

画面の説明

1.最新の情報に更新ボタン	最新の情報を表示します。 【遅延時間の表示について】 制御ボタン押下後、画面表示を更新すると、遅延時間入力欄に制御実行までの残り秒数が表示されます。 REBOOT 制御の場合、直ちに出力を OFF し、ON 実行までの秒数を表示します。
2.接続機器名	アウトレットに接続されている機器名として「監視先登録画面」で設定した名前が表示されます。
3.出力状態	アウトレットの出力状態を表示します。状態によってセルの色が変わります。 ON : アウトレット ON 状態 (緑色) OFF : アウトレット OFF 状態 (赤色)
4.操作ボタン ON,OFF,REBOOT 遅延時間 ON,OFF,REBOOT 実行ボタン	設定した遅延時間後にアウトレットの出力制御を実行します。 【アウトレット制御と監視機能について】 アウトレットを OFF にすると、自動リブート機能が働かないように、監視機能も停止します。再度、ON にすると、監視機能が再開されます。
5.アウトレット制御の中止ボタン	ON,OFF,REBOOT遅延時間カウント中にアウトレット制御の中止ボタンを押下すると、カウントダウンを中止し、すべての遅延制御をキャンセルします。

MEMO



4-5 監視設定 画面

本製品は、監視設定により登録した監視先に ping 送信を行い、その応答の有無により監視対象の死活判定を行います。また、ping による死活監視で異常と判断した場合、メールや SNMP トラップによる通知、及び、自動的にアウトレットをリブート(OFF→約 10 秒後に ON)することが可能です。

4-5-1 監視先登録 画面

ping による監視先や通知の有無を設定します。

NetMoni.One

[モニタ](#)
[ログ](#)
[制御](#)
[監視設定](#)
[システム設定](#)
[メンテナンス](#)

[監視先登録](#)
[監視間隔登録](#)

接続機器設定

No.	接続機器名	監視台数	異常判定台数	異常時の自動処理
1	<input type="text" value="DeviceName"/>	1	1	通報+自動リブート

1

No.	IPアドレス	異常判定回数	通報処理
1	<input type="text" value="192.168.10.70"/>	3	<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> トラップ
2	<input type="text" value="0.0.0.0"/>		<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> トラップ
3	<input type="text" value="0.0.0.0"/>		<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> トラップ
4	<input type="text" value="0.0.0.0"/>		<input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> トラップ

2

MEMO

※本画面の設定更新を実行すると、監視中のステータスやカウンタは、すべて初期化され、最初の待機状態から ping 監視を再開します。

画面の説明		
1.接続機器設定	接続機器名	アウトレットに接続している機器の名称を設定します。
	監視台数	「2.監視先設定」で登録した IP アドレスの数が設定更新後に表示されます。
	異常判定台数と異常時の自動処理	本製品は、設定された監視先(最大 4 台)のうち、ping 異常になった台数が「異常判定台数」以上になると、アウトレット異常と判断し、通知やアウトレットの自動リブートを行います。 異常判定台数が 0(ゼロ)の時、監視先毎の通知のみを行い、異常判定台数が 1 以上の時、監視先毎の通知に加え、アウトレット異常の通知と、自動リブートも行います。
次のページに続く...		

2.監視先設定	IP アドレス	ping 監視を行う機器の IP アドレスを登録します。
	異常判定回数	ping 応答の正常・異常は、監視先毎に判断します。「異常判定回数」以上連続して ping 応答がなかった場合、その監視先は、「異常」と判断されます。
	通知処理	ping監視先毎に「異常」発生 of メールやSNMPトラップによる通知を行いたい場合に、チェックを入れます。 ※メール設定やトラップ設定を正しく行っておく必要があります。

4-5-2 監視間隔登録 画面

ping による監視間隔や監視再開時間を設定します。

画面の説明	
ping 監視間隔 (秒)	ping の送信間隔を設定します。
ping 監視再開時間 (分)	異常判定台数以上の監視先が、ping 異常になると、アウトレット異常と判断します。 このイベントにより、アウトレットを自動リブートした後、ping 監視を再開するまでの時間を設定します。

●アウトレットの状態判定

アウトレット状態は、監視設定の異常判定台数と、監視対象機器の状態が[異常]になっている台数とを比較して、[正常]、[異常]を判定します。

アウトレット状態が[異常]になると、通知のみ行うか、アウトレットを自動的にリセット(OFF した後、約 10 秒後に ON)します。

MEMO

監視対象機器登録直後は、ping 状態が不明なため[待機中]となり、ping 異常台数の判定により、[正常]になるまでの間、待機モード[待機中]を継続します。

4-6 システム設定

4-6-1 システム設定画面

システムに関する各情報の表示や変更を行います。

システム情報 -----		1
ファームウェアバージョン	1.40-111202B	
ネットワーク設定 -----		2
MACアドレス	00:E0:3E:0C:00:00	
DHCP機能(*)	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	
IPアドレス(*)	<input type="text" value="192.168.100.55"/>	
ネットマスク(*)	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	
デフォルトゲートウェイ(*)	<input type="text" value="0.0.0.0"/>	
HTTPポート番号(*)	<input type="text" value="2080"/>	
管理情報 -----		3
ユーザID	<input type="text" value="admin"/>	
パスワード	<input type="password" value="●●●●"/>	
アウトレット設定 -----		4
アウトレットの初期状態	<input checked="" type="radio"/> ON (遅延時間 <input type="text" value="0"/> 秒) <input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> 停止前状態維持	

注意:(*)印の項目に関する設定変更は、本体リセット後に反映されます。

MEMO

画面の説明	
1.システム情報	
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョン番号が表示されます。
2.ネットワーク設定	
MAC アドレス	MAC アドレスを表示します
IP アドレス	IPアドレスを設定します。 デフォルト値：「192.168.10.1」
ネットマスク	サブネットマスクを設定します。 デフォルト値：「255.255.255.0」
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルト値：「0.0.0.0」
HTTPポート番号	デフォルト値：2080 入力可能範囲：1～65535 本設定を「80」に変更すると、IPアドレスのみ入力する「http://192.168.10.1/」ことでWebアクセスできるようになります。 セキュリティを保つには、「80」番以外の設定をおすすめします。
次のページに続く…	

3.管理情報	本製品に、ログインする際のユーザIDとパスワードの設定をします。
ユーザID	デフォルト値：「admin」
パスワード	デフォルト値：「magic」
4.アウトレット設定	本製品に、電源投入した際のアウトレット状態を設定します。
アウトレットの初期状態	<p>ON：停止前の状態に関らず、必ず、出力を開始します。遅延時間を設定することで、起動を遅延させることができます。設定可能範囲：0～999秒（*1）</p> <p>OFF：停止前の状態に関らず、必ず、出力を停止させた状態</p> <p>状態で起動します。（*1）</p> <p>停止前状態維持：</p> <p>停止前の状態がONであれば、起動時もON状態。</p> <p>停止前の状態がOFFであれば、起動時もOFF状態を維持します。（ON遅延時間は、設定できません。）</p>

- (*1)** 停止前のアウトレット状態がONの場合、本体に電源投入した際、一瞬、通電された後、OFF状態になります。ON遅延の場合、その後、遅延時間が経過してから、アウトレットがONになります。
- これは、本製品がラッチ式(電源が切れても状態保持する)リレーを採用しているため、ファームウェア起動前(ソフト的にリレー制御できる状態になる前)に、ハード的に通電してしまうための動作で、故障ではありません。もし、一瞬でも通電すると問題がある場合には、アウトレットをOFF制御してから、本体を電源断してください。

4-6-2 時刻設定

本製品の装置時刻設定を行います。

NetMoni.One

モニタ ログ 制御 監視設定 システム設定 メンテナンス

システム 時刻 メールサーバ メール宛先 トラップ

時刻

装置時刻 2009/07/06 13:34:24

時刻設定

画面の説明	
1.装置時刻	時刻画面を開いた時は、本製品に設定されている現在の装置時刻を表示します。 時刻設定ボタンが押下されると、その時、本製品に設定された装置時刻を表示します。 (表示されている装置時刻は、自動更新されません。)
2.時刻設定ボタン	時刻設定ボタンを押下すると、Web アクセスしているコンピュータのシステム時刻が装置時刻として設定されます。 ※時刻設定を実行すると、消費電力の計測ログは、一旦、 <u>クリア</u> されます。

MEMO

※本製品のシステム時刻は、本体の電源断時には、初期化されますので、その都度、再設定していただく必要があります。

MEMO

4-6-3 メールサーバ設定 画面

本製品は、アウトレット制御時や ping 異常発生時などのイベント発生時にメールによる通知を行うことが可能です。

送信メールには、本製品の IP アドレスとイベント発生時刻(装置時刻)とイベント内容が記載されています。

※詳細については、「第 5 章 5-3 送信メール一覧」を参照してください。

メール機能の有効・無効やメールサーバの設定を行います。

NetMoni.One

[モニタ](#)
[ログ](#)
[制御](#)
[監視設定](#)
[システム設定](#)
[メンテナンス](#)

[システム](#)
[時刻](#)
[メールサーバ](#)
[メール宛先](#)
[トラップ](#)

全体設定

メール機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効	1
サーバ設定		
メールサーバ(SMTP)	0.0.0.0	2
SMTPポート番号	25	
サーバ認証	<input type="radio"/> SMTP Auth <input type="radio"/> POP before SMTP <input checked="" type="radio"/> 無効	3
SMTP Auth ユーザID		4
SMTP Auth パスワード		
POP3サーバ	0.0.0.0	
POP3ポート番号	110	5
POP3認証ユーザID		
POP3認証パスワード		

MEMO

●メールサーバの設定項目

- A) メールサーバに認証機能がない場合、**1**、**2**のみ設定。
- B) メールサーバに SMTP Auth 認証機能がある場合、**1**、**2**、**3**、**4**のみ設定。
- C) メールサーバに POP before SMTP 認証機能がある場合、**1**、**2**、**3**、**5**のみ、設定してください。

※必要ない項目は、空にして、設定更新を行ってください。

画面の説明		
1.メール機能	すべてのメール機能の有効/無効設定を行います。 デフォルト値：「無効」	
2.送信サーバ設定	メールサーバ (SMTP)	現在設定されている SMTP サーバ(送信サーバ)アドレスを IP アドレスで指定します。
	SMTP ポート番号	SMTP通信で使用するポート番号を設定します。
次のページに続く…		

3.サーバ認証設定	サーバ認証が必要な場合、「SMTP Auth」か「POP before SMTP」を選択します。 サーバ認証が不要な場合、以下の SMTP Auth や POP3 認証サーバ設定を行う必要はありません。	
4.SMTP Authサーバ設定	SMTP Auth ユーザ ID	SMTP Auth 認証のためのユーザ ID を設定します。
	SMTP Auth パスワード	SMTP Auth 認証のためのユーザパスワードを設定します。
5.POP3 認証サーバ設定 (*1)	POP3 サーバ	現在設定されているPOPサーバアドレスを表示、設定します。 IPアドレスで指定します。
	POP3 ポート番号	POP3 の通信で使用するポート番号を設定します。
	POP3 認証ユーザ ID	POP 認証のためのユーザ ID を設定します。
	POP3 認証パスワード	POP 認証のためのユーザパスワードを設定します。



(*1) メールサーバが POP before SMTP を利用していない場合は、POP 認証ユーザ ID、POP 認証パスワードを登録しないでください。

4-6-4 メール宛先設定 画面

イベント発生時に送信するメールの送信元と宛先の設定を行います。

NetMoni.One

モニタ ログ 制御 監視設定 システム設定 メンテナンス

システム 時刻 メールサーバ メール宛先 トラップ

送信設定

送信元アドレス	<input style="width: 60%;" type="text"/>
送信先アドレス1	<input style="width: 60%;" type="text"/>
送信先アドレス2	<input style="width: 60%;" type="text"/>

画面の説明	
送信元アドレス	送信元のメールアドレスを設定します。
送信先アドレス	送信先のメールアドレスを 2 件まで登録可能です。



※ご使用のメールサーバによっては、存在しないアカウントからのメールは、受け付けられない場合があります。メールサーバの管理者に確認して設定を行ってください。

4-6-5 SNMP トラップ設定 画面

本製品は、アウトレット制御時や ping 異常発生時などのイベント発生時に SNMP トラップによる通知を行うことが可能です。

MEMO

※送信される SNMP トラップの詳細については、「第 5 章 5-4 SNMP トラップ一覧」を参照してください。

SNMP トラップ送信に関する設定を行います。

画面の説明	
1. トラップ機能	SNMP トラップ通信機能の有効／無効を選択します。 デフォルト値：「無効」
2. トラップ コミュニティ名	SNMP トラップで使用するコミュニティ名を設定します。 デフォルト値：「public」
3. IP アドレス	SNMP トラップ送信先の IP アドレスを設定します。 最大 2 件。
4. 送信回数	1 つのイベントに対し、対応するトラップを連続して送信する回数を設定します。 通信パケットの取りこぼし対策として必要な場合に複数回設定に変更してください。

4-7 メンテナンス

4-7-1 リセット画面

設定変更後に本製品をリセットすることができます。

The screenshot shows the 'NetMoni.One' interface. At the top, there is a navigation bar with tabs: 'モニタ', 'ログ', '制御', '監視設定', 'システム設定', and 'メンテナンス'. The 'メンテナンス' tab is highlighted in green. Below the navigation bar, the word 'リセット' (Reset) is displayed in a large green font. A dashed line points from a black box with the number '1' to a 'リセット' button located below the main heading. At the bottom of the screenshot, there is a green box containing a warning message.

注意事項:
リセットを実行すると、アウトレットのON/OFF状態は保持しますが、システムを再起動させるため、イベントログや計測ログはクリアされ、Web接続は強制的に切断されますので、再接続が必要になります。

MEMO

画面の説明	
1.リセット	本製品のソフトウェアリセットを実行します。 イベントログをクリアしたい場合や監視状態をリセットしたい場合、ネットワーク設定など、一部のシステム再起動を必要とする設定項目を反映させる場合に実行してください。 アウトレットの出力状態は、現在の状態を保持します。

5

詳細資料

本商品の詳細情報を説明します。

5 詳細資料

下記、項目の詳細情報について説明します。

- 5-1. 各設定項目の入力制限
- 5-2. イベントログの詳細説明
- 5-3. 送信メール一覧
- 5-4. SNMP トラップ一覧

5-1 各設定項目の入力制限

各設定項目のデフォルト値(初期値)と入力可能範囲は、下表の通りです。

各設定項目の入力制限

画面	入力項目	デフォルト値	入力制限	最大文字数
制御	ON 遅延時間	0	数字【0～9999】	4
	OFF 遅延時間	0	数字【0～9999】	4
	REBOOT 遅延時間	0	数字【0～9999】	4
監視設定				
監視先登録	接続機器名	空欄	半角英数、半角記号【 _ @ . - 】	15
	異常判定台数	0	プルダウン選択【0,1,2,3,4】 0:「通報のみ」 1～4:「通報+自動リブート」	-
	異常判定回数	3	数字【1～9999】	4
	IP アドレス	0.0.0.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
監視間隔登録	ping 監視間隔(秒)	60	数字【10～9999】	4
	ping 監視再開時間(分)	10	数字【1～9999】	4
システム設定				
システム	IP アドレス	192.168.10.1	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
	ネットマスク	255.255.255.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
	デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
	ユーザ ID	admin	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	10
	パスワード	magic	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	10
	電源投入遅延時間	0	数字【0～999】	3
メールサーバ	メールサーバ(SMTP)	0.0.0.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
	SMTP ポート番号	25	数字【1～65535】	15
	SMTP Auth ユーザ ID	空欄	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	31
	SMTP Auth パスワード	空欄	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	15
	POP3 サーバ	0.0.0.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15
	POP3 ポート番号	110	数字【1～65535】	5
	POP3 認証ユーザ ID	空欄	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	31
	POP3 認証パスワード	空欄	半角英数、半角記号【 ! # \$ % & () = @ + * < > / ? _ - , . [] ' { } ; : 】	15
メール宛先	送信元メールアドレス	空欄	@を含む半角文字列	63
	送信先メールアドレス	空欄	@を含む半角文字列	63
トラップ	トラップコミュニティ名	public	半角英数。1文字以上。	31
	トラップ送信先	0.0.0.0	ドット区切りで0～255の数字の4セット	15

5-2 イベントログの詳細説明

各イベント発生のタイミングと対応するログ内容

イベント発生のタイミング	WEB 画面のログ表示				送信 メール 番号	送信 トラップ 番号
	イベント内容		詳細1	詳細2		
	種類	状態				
監視対象機器毎の ping 異常発生時	死活監視	(応答なし)	異常監視先の番号	異常が発生した監視先の IP アドレス	メール④	トラップ④
監視対象機器毎の ping 異常回復時	死活監視	(応答復帰)	異常監視先の番号	異常が回復した監視先の IP アドレス	メール⑤	トラップ⑤
アウトレット異常発生時	アウトレット異常	(発生)	異常監視先の番号 (複数)	アウトレット異常時に行った自動制御 「アウトレット制御(REBOOT)」	メール⑥	トラップ⑥
アウトレット異常回復時	アウトレット異常	(回復)	異常監視先無し。 または、異常監視先の番号	—	メール⑦	トラップ⑦
アウトレット異常を繰り返し、 最大リポート回数(3回)に達した時	アウトレット異常	(リポート終了)	待機モードになったことをメッセージ表示 「待機モードに移行します。」	—	メール⑧	トラップ⑥
前面スイッチによる ON 操作時 (1~10 秒未満長押し)	アウトレット制御	(ON)	前面スイッチによる ON 操作が行われた ことを表す。「前面スイッチ」	—	メール⑩	トラップ①
アウトレットの ON 制御実行時			制御元の IP アドレス	—	メール①	トラップ①
アウトレットの OFF 制御実行時	アウトレット制御	(OFF)	制御元の IP アドレス	—	メール②	トラップ②
アウトレットの REBOOT 制御実行時	アウトレット制御	(REBOOT)	制御元の IP アドレス	—	メール③	トラップ③
ネットワーク Linkdown 発生時	通信障害	(発生)	—	—	—	—
ネットワーク Linkup 時 (本体起動時を除く)	通信障害	(回復)	Linkdown 発生日時	—	メール⑨	—
メール送信成功時	メール送信	(成功)	送信メールの原因になったイベント内容	—	—	—
メール送信失敗時	メール送信	(失敗)	接続エラーやタイムアウトなどエラー内容 を表示	—	—	—
本体電源投入時(FW 起動完了時)	システム起動	状態表示なし	—	—	—	—

各イベントに対して、実行されるメール送信と、SNMPトラップ送信の内容については、次項を参照してください。それぞれの番号に応じたデータが送信されます。

5-3 送信メール一覧

各イベント発生時に送信されるメールの本文には、送信元のIPアドレス(ユニットIP)と、イベント発生時刻(装置上の時刻)、イベント内容などが記載されています。それぞれのイベント内容は、イベントログと同じ情報です。

前述の「5-2 イベントログの詳細説明」にある送信メール番号と、下表の番号が対応しています。

各イベント発生時に送信されるメール内容

番号	イベント	メールの Subject	メール本文事例
メール①	アウトレットの ON 制御実行時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット制御(ON) 詳細1: 192.168.10.11 詳細2: -
メール②	アウトレットの OFF 制御実行時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット制御(OFF) 詳細1: 192.168.10.11 詳細2: -
メール③	アウトレットの REBOOT 制御実行時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット制御(REBOOT) 詳細1: 192.168.10.11 詳細2: -
メール④ (※1)	監視対象機器毎の PING 異常発生時	NetMoni.One Alarm	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: 死活監視(応答なし) 詳細1: 異常監視先 No.1 詳細2: 192.168.10.10
メール⑤ (※1)	監視対象機器毎の PING 異常回復時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: 死活監視(応答復帰) 詳細1: 異常監視先 No.1 詳細2: 192.168.10.10
メール⑥	アウトレット異常 発生時	NetMoni.One Alarm	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット異常(発生) 詳細1: 異常監視先 No.1,2, 詳細2: アウトレット制御(REBOOT)
メール⑦	アウトレット異常 回復時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット異常(回復) 詳細1: 異常監視先無し or No.~ 詳細2: -
次のページに続く...			

メール⑧	最大リポート回数に 到達	NetMoni.One Alarm	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット異常(リポート終止) 詳細1: 待機モードに移行します。 詳細2: -
メール⑨	ネットワーク Linkup 時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: 通信障害(回復) 詳細1: YYYY/MM/DD HH:MM:SS 発生 詳細2: -
メール⑩ (※2)	前面スイッチによる アウトレットの ON 制御実行時	NetMoni.One Info	ユニット IP: 192.168.10.1 発生時刻: YYYY/MM/DD HH:MM:SS イベント内容: アウトレット制御(ON) 詳細1: 前面スイッチ 詳細2: 12:34:56 (MAC アドレスの下 3 バイト)

※発生時刻は、すべて装置時刻

(※1) メール④とメール⑤は、監視設定画面で、それぞれの監視先毎の「メール」にチェックをいれなければ送信されません。

(※2) 前面スイッチにより、ON 制御(1 秒～10 秒未満長押し)を行うと、メール⑩が送信されます。
メール⑩には、本体の IP アドレスと MAC アドレス(下3バイト)が記載されていますので、本体の IP アドレスが分からなくなった場合に備え、メール送信設定されることをおすすめします。

5-4 SNMPトラップ一覧

各イベント発生時に送信される SNMPトラップの内容は、下記の通りです。
 前述の「5-2 イベントログの詳細説明」にある送信トラップ番号と、下表の番号が対応しています。

各イベント発生時に送信される SNMPトラップ一覧

番号	イベント	項目	値
トラップ①	アウトレットの ON 制御実行時	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.1
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	1
		Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)
		付帯情報	object identifier
		value	アウトレット番号
トラップ②	アウトレットの OFF 制御実行時	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.2
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	2
		Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)
		付帯情報	object identifier
		value	アウトレット番号
トラップ③	アウトレットの REBOOT 制御実行 時	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.3
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	3
		Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)
		付帯情報	object identifier
		value	アウトレット番号

次のページに続く…

トラップ④ (※1)	監視対象機器毎の PING 異常発生時	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.16
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	16
	Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)	
	付帯情報①	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.2.監視機器の登録番号(1~4)
		value	監視サーバの登録番号(1~4)
	付帯情報②	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.3.監視機器の登録番号(1~4)
		value	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.3.6 (nmAlarmDeviceNoResponse)
付帯情報③	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.4.1.3.1.11.監視サーバの登録番号(1~4)	
	value	監視先の IP(文字列)	
トラップ⑤ (※1)	監視対象機器毎の PING 異常回復時	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.17
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	17
	Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)	
	付帯情報①	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.2.監視機器の登録番号(1~4)
		value	監視サーバの登録番号(1~4)
	付帯情報②	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.3.監視機器の登録番号(1~4)
		value	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.3.6 (nmAlarmDeviceNoResponse)
付帯情報③	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.4.1.3.1.11.監視サーバの登録番号(1~4)	
	value	監視先の IP(文字列)	
次のページに続く...			

(※1) トラップ④とトラップ⑤は、監視設定画面で、それぞれの監視先毎の「口トラップ」にチェックをいれなければ送信されません。

トラップ⑥	アウトレット異常発生時 (無応答のサーバ数が異常判定で基準の数を越えた時)	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.18
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	18
		Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)
	付帯情報①	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.5.1.6.1.1.アウトレット番号
		value	アウトレット番号 (1)
	付帯情報②	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.3.アウトレット番号 (1)
		value	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.3.6 (nmAlarmDeviceNoResponse)
付帯情報③	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.5.1.6.1.7.アウトレット番号 (1)	
	value	アウトレット名	
トラップ⑦	アウトレット異常回復時 (無応答のサーバ数が異常判定台数未満になった)	OID	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6.19
		Version	1 (0)
		Community	デフォルト public
		PDU type	TRAP-V1
		Enterprise	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.6
		Agent address	発信元 IP
		Trap type	ENTERPRISE SPECIFIC (6)
		Specific trap type	19
		Timestamp	発信元システム時刻(カウンタ)
	付帯情報①	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.5.1.6.1.1.アウトレット番号
		value	アウトレット番号 (1)
	付帯情報②	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.2.1.3.アウトレット番号 (1)
		value	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.3.3.6 (nmAlarmDeviceNoResponse)
付帯情報③	object identifier	.1.3.6.1.4.1.12580.5.2.5.1.6.1.7.アウトレット番号 (1)	
	value	アウトレット名	

6

お困りの
ときには

6-1 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、こちらをご覧ください。

設置に関するトラブル

a. 本商品の前面右 LED（アウトレット出力状態用）が点灯しない

症状	原因と対策
アウトレット用 LED が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● Web 画面でアウトレット出力が ON 状態であることを確認してください。 ● 電源プラグが壁のコンセントから外れていないか確認してください。 ● 電源プラグがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている場合は、壁などのコンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ● 電源コードが破損していないか確認してください。破損している場合は、すぐに電源プラグを電源コンセントから抜き、販売店にご相談ください。

b. 本商品前面の左 LED（ネットワーク LINK 状態用）が点滅しない

症状	原因と対策
LINK 用 LED が点滅しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 本商品と本商品の LAN ポートに接続されているハブやルータなどの両方の電源が入っていることを確認してください。 ● ネットワークケーブルが本商品と本商品の LAN ポートに接続されているハブやルータなどの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれていることを確認してください。 ● ネットワークケーブルがショート、もしくは断線していないか、または規格を満たしているか確認してください。

c. Web ブラウザで本商品の Web 画面が表示されない

症状	原因と対策
<p>Web ブラウザ画面のアドレスに「http://<本商品の IP アドレス:HTTP ポート番号>」と入力しても Web 画面が表示されない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレスが間違っていないか。 Web 画面で設定変更された IP アドレスで接続するには、本体のリセットを実行していただくか、一度、電源を落としていただく必要があります。変更前の IP アドレスで接続できませんか？ また、DOS プロンプトを開き、「ping 対象の IP アドレス」コマンドを実行して、応答がありますか？ 応答がなければ、ネットワーク接続をご確認ください。 ● HTTP ポート番号を指定されていますか。 本商品は、初期状態で 2080 番の HTTP ポート番号を指定する必要があります。 80 番以外のポート番号に設定されている場合、IP アドレスだけでは接続できません。 ● 本商品は同一セグメントに存在していますか。 本商品の初期状態のネットワーク設定は、 IP アドレス： 192.168.10.1 サブネットマスク：255.255.255.0 この機器にアクセスできるコンピュータの同一セグメントネットワーク設定は、下記の通りです。 IP アドレス： 192.168.10.2～254 サブネットマスク：255.255.255.0 ● プロキシを設定されていないか。 →プロキシを設定されている場合、接続要求が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]→[LAN の設定]の順にクリックします。 ②[プロキシサーバを使用する]の[詳細]をクリックして、例外に「本商品に設定した IP アドレス」を入れてください。 ● ネットワーク通信を制限されていないか。 お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。
<p>ページが正常に表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Javascript を無効に設定されている →Web ブラウザの設定で Javascript を有効に設定してください。

d. 本体の IP アドレスと初期化

目的	方法
<p>本体の IP アドレスを調べたい。</p>	<p>● 本体の IP アドレスが分からなくなった時</p> <p><u>本体のメール設定がなされている場合：</u> 本体前面スイッチを 1～10 秒未満長押し(=ON 制御)を行ってください。ON 制御を行ったメールが送信され、その本文に、本体の IP アドレスと MAC アドレス(下 3 バイト)が記載されています。</p> <p><u>本体のメール設定を行っていない場合：</u> 次項の工場出荷リセットを行ってください。 ただし、すべての設定が初期化されますので、各機能の再設定が必要です。</p>
<p>工場出荷リセットを行いたい。</p>	<p>● すべての設定を初期化したい時</p> <p>すべての設定を初期化(=工場出荷リセット)を行いたい場合、本体前面スイッチをアウトレット用の右側 LED が点滅を開始するまで(約 20 秒以上)長押ししてください。 LED の点滅を確認し、スイッチから手を放すと、すべての設定が初期化され、システムが再起動します。 デフォルトの IP アドレス「192.168.10.1」で接続できるようになりますので、各機能の再設定を行ってください。 (イベントログもすべて削除されます)</p>

e メールの設定

症状	原因と対策
<p>メールが届かない。</p>	<p>● メールが届かない時の確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールサーバの IP アドレス、SMTP ポート番号、各ユーザ ID やパスワードなどメールサーバの各設定を再確認してください。 ・メールの宛先を再確認してください。 ・メールサーバが、本製品の IP アドレスとは異なるネットワークセグメントに存在する場合、デフォルトゲートウェイの設定が必要です。 ・DOS プロンプトを開き、「ping メールサーバの IP アドレス」コマンドを実行して、応答がありますか？応答がなければ、ネットワーク接続をご確認ください。

7

付録

7-1 製品仕様

項目	仕様
型式	Z-NB102
定格入力電圧	AC100V±10% 50/60Hz (プラグ形状: 2極)
アウトレット	1個 (コンセント形状: 2極) 最大出力 100V 15A
LAN インターフェイス (RJ45 ポート)	IEEE802.3 10Base-T 準拠 伝送速度: 10Mbit/s 半二重
LED	右 LED: アウトレット出力状態×1 左 LED: ネットワーク LINK 状態×1
動作環境	動作温度範囲: 0~40℃ 動作湿度範囲 30~80%RH (結露なきこと) 標高: 1000m以下
保管環境	保管温度範囲 0~65℃ 保管湿度範囲 5~90%RH (結露なきこと)
外形寸法	H120×W70×D41 (mm) (突起部を除く)
質量 (重量)	215g
消費電力	約 1.5W (最大)
適合規格	電気用品安全法 (PSE 適合)
その他	RoHS 指令準拠

7-2 お問い合わせ・ユーザ登録

ホームページ

本製品のオンライン情報サービスとして、インターネットのホームページを開設しています。

■ 主なメニュー

- お知らせ 最新のお知らせをご提供
- サポート ユーザ登録のご案内、技術情報、FAQ、サポート連絡
窓口等のサポート情報をご提供
- 資料請求 カタログ請求の申し込み

■ ホームページアドレス

<http://www.airbucks.jp>

インフォメーションサービス

本製品の機能や取り扱い方法などでご不明な点がございましたら、下記へお問い合わせください。

■ エアーバックス サポート

E-mail: support@airbucks.jp

お願い

- お問い合わせになるときには、次のことをお伝えください。
 - お名前
 - 電話番号
 - 本製品の機種名（型式）「Z-NB102」
 - 本製品の MAC アドレス、製品の購入時期
 - 詳しい症状、メッセージが表示されていたらその内容 など
- コンピュータの設置や操作方法などについては、コンピュータのサポートセンターなどにお問い合わせください。

修理について

■ 修理

万一装置に故障が発生した場合、お買い求めの販売店、または、エアバックスの保守サービス受付へご連絡ください。Mail : support@airbucks.jp

■ 修理費用

当社規定の費用をお支払いいただきます。ただし、ご購入後 6 ヶ月以内の故障につきましては、保証書をご持参いただいた場合に限り、保証書に記載された保証規定に従って無料で修理いたします。

■ 保証書

保証書は、販売店で所定事項に記入いたします。保証期間、ご購入店名、記載事項をご確認の上、大切に保管してください。

■ 保守サービス時間帯

9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

無料保証規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。無料補償はセンドバック方式となります。
 - (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
 - (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には合同会社エアーボックスに連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 本書のご提示がない場合
 - (ホ) 本書にお買い上げ日、お客様名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または（同）エアーボックスにお問い合わせください。

※ This warranty is valid only in Japan.

持込

NetMoni.One(Z-NB102)

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には、本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	Z-NB102
保証期間	本体 <small>お買い上げ日より</small> 6ヶ月
お買い上げ日	年 月 日
※ お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 電 話 ()
※ 販売店	住所・店名 _____ 電 話 ()

合同会社エアーボックス
<http://www.airbucks.jp/>

販売店様へ ※印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。